

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

《災害派遣要請》

令和8年7月28日（火）16時27分頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7（宇城市、氷川町）の地震が発生。同日（28日）17時30分、熊本県知事から陸自第8団長（北熊本・熊本）に対し、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。

令和8年9月13日（日）22時、自衛隊に対するニーズが解消したため、熊本県知事から陸自第8師団長に対して災害派遣撤収要請があり、自衛隊は活動を終了。

令和8年9月13日
防衛省

令和8年熊本地震に係る災害派遣について（最終報）

派遣規模

- 人員：延べ 約192,200名（最大時約5,100名態勢）
- 航空機：延べ 約1,340機（最大時約70機態勢）
- 艦艇：延べ 約360隻（最大時約10隻態勢）

派遣部隊

- 【陸上自衛隊】
 - ・第42即応機動連隊（北熊本・熊本）、第12普通科連隊（国分・鹿児島）、第8偵察隊（北熊本・熊本）、第8高射特科大隊（北熊本・熊本）、第8施設大隊（川内・鹿児島）、第8飛行隊（高遊原・熊本）、第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、第43普通科連隊（都城・宮崎）、西部方面特科連隊（北熊本・熊本）、第5地对艦ミサイル連隊（健軍・熊本）、西部方面航空隊（高遊原・熊本）、西部方面後方支援隊（健軍・熊本）、第4特殊武器防護隊（福岡・福岡）、第4後方支援連隊（福岡・福岡）、第32普通科連隊（大宮・埼玉）、中部方面後方支援隊（桂・京都）等
- 【海上自衛隊】
 - ・海自艦艇（ぶんご、げんかい、えんしゅう、いせ、くにさき、すおう、うらが、ひうち、水中処分母船4号 水中処分母船5号、はまな）
 - ・第1航空隊（鹿屋・鹿児島）、第22航空隊（大村・長崎）、第111航空隊（岩国・山口）、佐世保地方隊、呉地方隊、横須賀地方隊、舞鶴地方隊、大湊地方隊 等
- 【航空自衛隊】
 - ・第8航空団（築城・福岡）、第5航空団（新田原・宮崎）、西部航空警戒管制団（春日・福岡）、西部高射群（築城・福岡）、西部航空方面隊司令部支援飛行隊（板付・福岡）、西部航空施設隊（芦屋・福岡）、第2移動通信隊（春日・福岡）、第1輸送航空隊（小牧・愛知）、第2輸送航空隊（入間・埼玉）、第3輸送航空隊（美保・鳥取）、第12飛行教育団（防府北・山口）、第3術科学校（芦屋・福岡）、航空教育隊（防府南・山口）等

人命救助

- 【人命救助・行方不明者捜索】〈7/29～8/1（4日間）〉
 - ・イオンモール熊本（嘉島町）、日本製紙八代工場（八代市）、氷川地区一帯（氷川町）
 - ・災害救助犬（海上自衛隊3頭、航空自衛隊6頭）による捜索
- 【患者の輸送】〈7/29～7/31（3日間）〉：約90名

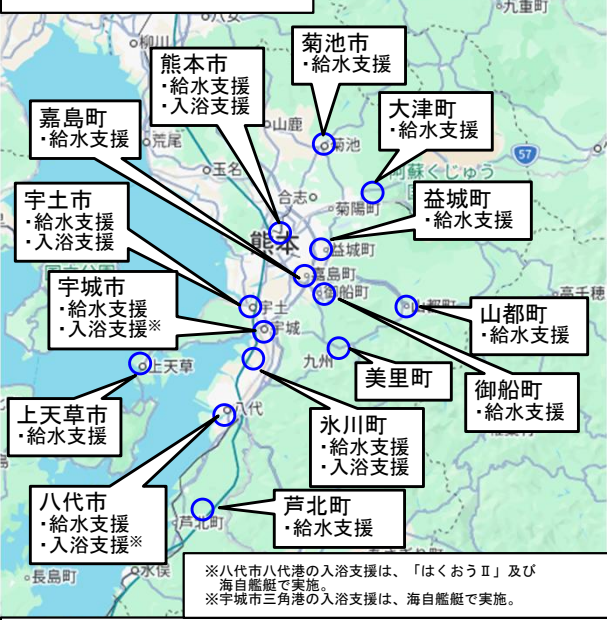
生活支援

- 【物資輸送】〈7/29～その都度〉
 - ・クーラー（約300台）⇒ 経済産業省、民間企業、空自、陸自が連携し、24時間以内に被災地へ輸送
 - ・ペットボトル飲料水（約5,230箱）⇒ 福祉施設等へ輸送
 - ・水再生型シャワー（航空自衛隊保有分×7、民間保有分×80）
 - ・海上自衛隊の艦艇、航空自衛隊のC-2輸送機等により、救援物資を被災地へ輸送
- 【給水支援】〈7/29～9/13〉
 - ・約5,600t（最大時：給水車約110両12市町58か所）
※人工透析等に必要な水の不足により給水支援要請のあった延べ15の病院に対し、約3,180tの給水支援を実施。
- 【入浴支援】〈7/31～9/13〉（「はくおうⅡ」の入浴支援を含む。）
 - ・約23,980名（最大時 5市町7箇所）
- 【ブルーシート展開における地上での補助支援】〈8/6～8/8（3日間）〉
 - ・約70軒（ブルーシートの輸送支援、土のうの作成・運搬支援）
- 【民間船舶「はくおうⅡ」の活用による生活支援】〈8/5、8/11～9/13〉
 - ・入浴支援〈8/5、8/11～9/13〉：約1,920名
 - ・宿泊支援〈8/14～9/13〉：約960名

米軍支援

- 【米軍輸送機による物資輸送】〈8/9～8/11（3日間）〉
 - ・使用機種 米軍輸送機KC-130及びC-130
 - ・輸送経路 横田基地～高遊原分屯地
 - ・輸送回数 計4回
 - ・輸送実績 合計約45t（飲料水等）

主な活動市町



物資輸送：福祉施設等への輸送支援（ペットボトル飲料水）
熊本市、嘉島町、益城町、御船町、山都町、宇土市、宇城市、美里町、氷川町、八代市、上天草市、菊池市



物資を運搬する様子



水を配布する様子



受付の様子



入浴支援準備の様子



受付の様子



物資を運搬する様子



関係機関との連携



災害救助犬による捜索



患者輸送

搬送の様子